

1 会議名	第1回愛南町行政改革推進委員会	
2 議題	(1) 委員長・副委員長の選出について (2) 行政改革推進委員会の進め方について (3) 前年度提案の実施状況について (4) 行政改革・改善職員提案について (5) 行政改革推進委員会提案について (6) その他	
3 開催日時	令和7年7月2日(水) 10時00分から12時00分まで	
4 開催場所	愛南町役場 3階 議員協議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	稲田 博、増田 和恵、内田 留美、徳川 義孝、高川 文江、 狩野 瑞穂	
7 担当所属	所属名	総務課
	担当職員 (職・氏名)	課長 濱 哲也 主幹 小松 一恵
8 その他の 出席職員	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
小松主幹	ただ今から、第1回愛南町行政改革推進委員会を開会します。開会に当たりまして、濱総務課長が挨拶を申し上げます。
濱課長	(開会挨拶)
小松主幹	新たな任期となった第1回の委員会ですので、私から委員の皆様を御紹介します。 (委員紹介) 委員長が決まるまでは濱総務課長が進行いたします。
濱課長	それでは、議事に入ります。 (1)委員長、副委員長の選出に当たりまして、指名推選の方法により行いたいと思いますが御異議ありませんか。
委員一同	(異議なし)
濱課長	委員長に増田委員、副委員長に稲田委員に決定しました。では、これからの進行は委員長にお願いします。
増田委員長	皆様、引き続きよろしく申し上げます。 議事の(2)行政改革推進委員会の進め方について事務局説明を求めます。
小松主幹	(資料のとおり説明)
増田委員長	事務局から説明がありましたが、何か質問等ありますか。
委員一同	(特になし)
増田委員長	では、次に進みます。(3)前年度提案の実施状況について、事務局説明を求めます。
小松主幹	(資料のとおり説明)
増田委員長	事務局から説明がありましたが、何か質問等ありますか。
委員一同	(特になし)

発言者	発言内容
増田委員長	では、次に進みます。(4)行政改革・改善職員提案について事務局説明を求めます。
小松主幹	(職員提案1「台風等避難所設置体制について」説明)
増田委員長	事務局から説明がありました。この提案については、業務内部のことですので委員会として提言することはないと思いますが、何か御意見がありましたらお願いします。
委員一同	(特になし)
増田委員長	以上で提案1を終わります。 次に提案2について、事務局に説明を求めます。
小松主幹	(職員提案2「事務の移譲について(更生保護事業)」について説明)
増田委員長	事務局から説明がありました。この提案については、業務内部のことですので委員会として提言することはないと思いますが、何か御意見がありましたらお願いします。
稲田副委員長	保護司という特殊な仕事について、事務量はどうか、町民課は別の仕事で忙しいのか等実情はどうかのでしょうか。 仕事の振り合いのようなものでしょうか。
濱課長	これまで紆余曲折あり、現在町民課が所管していますが、町の仕事として2課に該当するケースがあります。 そしてまたどちらにも該当しないけれどもどこかが所管しなければならないというような業務もあり、そういう事情で、町民課が担当している事務について意見が出てきたものです。
増田委員長	ほかに御質問ありませんか。
委員一同	(特になし)
増田委員長	以上で提案2を終わります。

発言者	発言内容
小松主幹	<p>次に、提案3について、事務局に説明を求めます。</p> <p>(職員提案3「事務の移譲について(埋火葬及び改葬許可に関する事務)」について説明)</p>
増田委員長	<p>この提案については、業務内部のことですので委員会として提言することはないと思いますが、何か御意見がありましたらよろしく申し上げます。</p>
委員一同	<p>(意見なし)</p>
増田委員長	<p>町民の立場としても、届出と同じ場所でスムーズに行える方が良いと思います。</p> <p>以上で提案3を終わります。</p> <p>次に、提案4について、事務局に説明を求めます。</p>
小松主幹	<p>(職員提案4「開庁時間の短縮について」説明)</p>
増田委員長	<p>事務局から説明がありました。</p> <p>それでは順番に、率直な御意見や担当課に確認を求めるようなことがありましたらお願いします。</p>
狩野委員	<p>時代の流れは働き方改革ではありますが、今回の提案については、働き方改革とは別に、長年働いてきた実感としても働く者の意識としても、5分前に来て準備して仕事をするという体制をとることは必要だと思います。5分前の準備をして、住民を迎え入れるという気持ちでいることは大事です。</p>
高川委員	<p>8時半が8時45分になることで、町民からその時間に行く予定だったという声があるかもしれませんが、十分に理解を求めていけば良いのではないかと思います。</p> <p>私は、昭和の時代に教員をしてきました。8時からの開始に対して、当時は、1時間半前から教室で子供たちを笑顔でおはようと言えなさいと言われて、それを何十年もしてきたのですが、今となっては、違うかなと正直思っています。</p> <p>職員の生活も大事ですし、理解を得ていけば、町民も職員の生活は大事だと思い、45分からの開庁も可能なのではないでし</p>

発言者	発言内容
増田委員長	<p>ようか。</p> <p>私たちも、30分前に来て掃除など全部して、迎え入れるまでにきちんとしておきましょうという姿勢は当然のようにありましたが、今と昔とでは感覚が違ってきていると感じます。</p>
徳川委員	<p>児童福祉等、24時間待機しなければならないような職業もあります。一概に言えないのですが、私の感覚としては、自分自身が誇りを持って仕事をする以上は、始業時間までに対策をとることが普通だと思っています。学校でもあることなのかもしれませんが、役場でも職員の方が結構退職していることを、今回初めて知ってショックでした。</p> <p>もし、そういうことが原因で退職する方がいるのであれば、例えば、業務に必要な起動などを業務時間内にすることを認めるということは、時代の要請として必要かもしれないので、検討していただければ良いと思います。</p> <p>先ほど申し上げましたが、45分という時間が正しいのかどうか分かりませんが、個人個人の能力というものがあると思います。5分で準備できる人もいれば、10分掛かる人がいるかもしれないので、時間の幅も検討が必要です。</p> <p>プライドを持って、仕事をしていただけるということが一番だと思います。職員の方々のアンケートなりされていると思うのですが、うまくいくよう、是非調整していただければと思います。後は、開庁が遅くなるのであれば、徹底的な周知を行う必要があります。</p>
内田委員	<p>開庁時間が短くなっても、仕事に支障がないのであれば賛成です。</p>
稲田副委員長	<p>8時半の業務開始までに仕事ができる体制を整えるということで徹底をされているのですが、5分10分早く来ることについて、時代にそぐわない可能性があるということが問題なのだという提案です。例えば終業時刻を17時にしても、17時まで、開庁されているので、多分10分5分ぐらい遅れるので、時間外手当云々に関して言うと、始業と終業のどちらでも問題が必ず発生するのだと思います。</p> <p>銀行の場合は、9時開店で、以前は7時半ぐらいに出勤した</p>

発言者	発言内容
	<p>りしていたのですが、今は、原則8時10分まで店を開けてはいけません。8時半から17時半までの就業規則で、20分前に出勤して準備をすることが、運用上認められています。</p> <p>いろいろな解釈があって、1分前に来てすぐスタートすることは難しいので、5分ぐらいは準備時間として容認するような形です。その準備時間というのは、原則でいうと支払いを命じられる可能性はあるのかもしれませんが、30分前などではないので、ある程度は仕事のスタートを切る上で必要な時間だと言えると思います。</p> <p>いろいろな考え方があるので、なかなか難しいのですが、役場の職員に限らず、やはり広くどの業界でも起こり得る問題だと思います。私個人的には、5分、10分前は良いと思います。</p>
増田委員長	<p>意識も違ってきているかもしれないのですが、開庁時間を8時45分から17時までにするならば、15分あれば準備はできると思うので、それぞれ準備の時間も合わせての仕事になるのかなと思います。</p>
小松主幹	<p>支払命令の事案は、朝礼のために5分前出勤を命じられていた時間が時間外勤務に当たるとされたもので、本町において慣例的に行っている業務前の朝礼とは違っていています。窓口業務のある課は5分前に行っているけど、8時半以降に行く課もあるなど、5分前出勤の命令がない慣例的な場は実際あります。そういったところがこの提案では問題視されています。</p> <p>今のところは残務整理や開始前の準備のための時間外勤務命令は、どの課も上司からはされていないと思います。</p> <p>例えば、朝7時からがん検診の受付が始まる場合には、職員に対しては6時半頃から時間外勤務命令が出されるように、個々の業務に応じて、時間外勤務命令は出ています。</p>
濱課長	<p>私は今の所属が総務課、前所属が水産課、そしてもう一つ前は建設課だったのですが、総務課は8時半の5分前に朝礼を行っています。</p> <p>電話の対応などもありますので、総務課は過去も8時半までに、朝礼を済ませています。</p> <p>そして建設、水産の事業課においては、町民の出入りが頻繁にないので、8時半からの朝礼でも全然問題はありませんでし</p>

発言者	発言内容
高川委員	<p>た。ただし、お客さんが来たときは朝礼を一旦ストップして、窓口対応を優先して住民サービスに影響を及ぼすようなことはありませんでした。</p> <p>町民課など、いわゆる1階の町民に接する機会が多いところでは、終礼という形をとっていた課も過去にはあります。</p> <p>今回、冒頭の「勤務時間より早く来て準備をするのは当たり前という時代ではなくなっている」というワードは、私にとっても衝撃でもありました。小学校、中学校の部活動など、いわゆる団体活動で、早く来るのが当たり前という世代で育っていますし、今も8時半始業ですが、早めに準備をして朝礼を迎えるという段取りも何十年もしてきていますので、そういう時代なのかという驚きもありました。</p> <p>しかしこれは業務の中の、その課によっても違う立ち位置がありますので、先ほど事務局から説明がありましたように、こちらで預からせていただいて各課にも一応周知はしてみようとは思っています。以上です。</p> <p>精神的なものをちゃんと育てていかないといけない、育っていくべきだと思います。</p> <p>仕事に対して責任などいろいろなものがあるから、時間外に仕事に関する本を読むだろうし、勉強もするだろうし、前もっていろいろなことを整えて、仕事に向かうべきだということも重々分かっているのですが、規則として守るべきもの、給料が発生する時間というものは別のようなものです。</p> <p>まとめにはなりません、ここ何年間か大学卒業したばかりの初任者を指導してきて、もちろん早く来るし、遅くまでいるのですが、やはり勤務時間という法律的に守ってあげる部分があるのだと思います。</p> <p>高熱や親の病気など特別な場合もあります。そういうときにもこの15分という時間さえあれば、何かができるかもしれません。そういう意味で、そこにお客さんが来ているのにこのようなことではなくて、守られるべき時間というものは規則として定めてあげるべきではないかと思っています。</p>
稲田副委員長	<p>役場は、就業時間が8時半から17時15分で、開庁時間も8時半から17時15分と全く同じだということが難しさの要因になっています。</p>

発言者	発言内容
増田委員長	<p>以上で提案4を終わります。 次に、提案5について事務局説明をお願いします。</p>
小松主幹	<p>(職員提案5「10年後を見据えた「人財」の育成と、職員から選ばれる職場づくりについて」説明)</p>
増田委員長	<p>この提案についても、内部での協議ですので、委員会として提言することはないと思いますが、何か御意見がありましたらお願いします。</p>
委員一同	<p>(特になし)</p>
増田委員長	<p>以上で提案を終わります。 次に、提案6について事務局説明をお願いします。</p>
小松主幹	<p>(職員提案6「ふるさと納税を活用した高等教育に対する助成事業」について説明)</p>
増田委員長	<p>事務局から説明がありました。 それでは、順番に率直な御意見と、もし担当課に確認を求めるようなことがありましたらお願いします。</p>
内田委員	<p>少子化対策、子育て支援は大切ですが、子供を増やすことだけが目標ではなくて、どう育てるかも大切です。 補助金などのお金ではなくて、親が子を大切に育てるということの醸成、その手助けや時間も必要です。</p>
徳川委員	<p>補助金には賛成です。財政的に余力があれば、教育は未来への投資であり、やる価値はあります。</p>
高川委員	<p>徳川委員の意見と同様です。奨学金をもらっても返済できない、食べていけないというニュースを何度も見たので、こういう提案はとても良いと思います。 内田委員がおっしゃったことも、例えば先ほどの町の開庁時間の改善が出ましたけど、やはり町が手本となって働き方改革をすると、いろいろな中小企業なども見習って改善され、より</p>

発言者	発言内容
狩野委員	<p>良い家庭教育で子供が育つのではないかとも思い、どちらの意見にも賛成です。</p> <p>この提案が実現すれば、いろいろな場面で町民にアピールする必要があると思います。</p> <p>愛南町出身の活躍している方で、月に1万円の奨学金を南宇和高校の卒業生が大学進学するときに補助している方がいます。人数的には5、6人だと思うのですが、そういった方々をアピールすれば、自分もしてみるというような掘り起しもできるし、一部の人の個人的な取組ではなくて、それが広がることによって子供たちは助かるということです。</p> <p>田舎に住んでいると、自然は豊かで海も美しいし食べるものもおいしいけど足りないところもあります。</p> <p>まず交通費が掛かります。東京や大阪に進学すると、帰ってくるだけでもお金が掛かるからなるべく帰らないようにしてしまう子も多いでしょうし、博物館や美術館に行きたい、勉強したいと思っても交通費だけで相当なお金が掛かります。</p> <p>都会の子なら、電車で行けば済むことが、愛南の子たちはできないわけですから、そういう面からするとふるさと納税を使った支援は、とても大事なことだと思います。</p> <p>だから、経済的にこれがうまくいくのであればお願いしたいと思います。</p> <p>それから、子供に支援することも大事ですけど、子供ができるように支援をしていただきたいと思うところもあります。</p> <p>愛南町のこの少ない人口を増やすための方法としてマッチングのようなことをしても、なかなか組織としては難しいのかもしれないかもしれませんが、個人に任せていたら人口はどんどん減ります。やはり町が本格的に腰を据えてそういうことをしていかないと人口は増えません。</p> <p>先ほどの都会からのIターンやUターンを支援することも大事ですが、この愛南町の人々が子育てに前向きになるような施策も要るのではないかと思います。</p>
稲田副委員長	<p>良い事業だと思いますが、奨学金制度として大学に進学する方への対策になっているので、例えば専門学校などには対応しないのかなど、税負担は公平なので対策が不公平だという意見も出る懸念があるのかなという気がします。</p>

発言者	発言内容
増田委員長	<p>奨学金は結構な割合で利用されている方が多いと思いますし、南宇和高校もかなりの進学率だと聞いています。</p> <p>この制度を仮に継続して実施した場合、かなりの費用負担になって、恐らく費用対効果を求められると思います。</p> <p>目的は、人口減少の歯止めを掛けるということで、子供に対する支援は今後も重要視されていくと思いますが、少子化対策や人口減少の歯止めには、やはりある程度の企業がないと根本的な解決にならないと思いますので、そういったことと並行して施策を考えた方が良くと思います。</p> <p>皆さんすばらしい意見をありがとうございます。</p> <p>私も、ふるさと納税を活用したこの提案に大賛成です。</p> <p>正に、私の1番下の子が今年大学に入りました。愛南町から都会に送り出すにはお金が要るのだと実感しました。子供が3人いても末っ子だと今の制度では対象になりませんでした。</p> <p>ふるさと納税を活用した事業によって、外に出た子たちも愛南町って良いなと思えて、住みたくなるような町になってもらえたらと思います。</p> <p>先ほど狩野委員が言われた、活躍されている愛南町出身者を紹介することに私も賛成です。城辺中学校では、活躍されている方を招いてお話を聞く「ふるさと講演会」をしているので、町でも実施したら良いと思います。</p>
増田委員長	<p>以上で、職員提案について終わります。</p> <p>続いて、(5)行政改革推進委員提案について審議を行います。委員提案1について、事務局説明をお願いします。</p>
小松主幹	<p>(委員提案1「自然の家や大学生の部活・サークルの合宿地を目的とした誘致」について説明)</p>
増田委員長	<p>この提案について、稲田副委員長、補足説明はありますか。</p>
稲田委員	<p>県外の方はもとより県内の方でも、愛南町を訪れたことがない方も多いため、この愛南町の魅力を前面に出して、来てもらえるような体制づくりをして、体験をしてもらいたいです。</p> <p>一度道筋をつければ、継続していろいろな施策が打てるのではないかと考えました。</p>

発言者	発言内容
増田委員長	それではこの提案について、何か御意見がありましたらお願いいたします。
狩野委員	廃校を利用してはどうでしょうか。例えば内海中学校であれば、海が見えるし、山もきれいです。少々お金が掛かったとしても、オーシャンビューが望めるような施設にすることなどを検討してはどうでしょうか。
高川委員	高校が合宿に来た時に、町内をユニフォーム姿で走る姿を見ていたら活気があって良かったです。大学のサークルなどを呼ぶと、若い人は皆SNSで発信してくれるので、きれいな景色など愛南町に関する発信も増えて評判になると、愛南町で合宿しよう、となるのではないかと思います。
徳川委員	廃校利用に賛成です。廃校を合宿に利用して普段から使えるようになれば、災害時にも利用できると思います。
内田委員	私も大賛成です。愛南町にダイビング来て、そのまま移住してくる人たちもいます。子供を連れて、釣りやダイビングに再び遊びに来てくれていることがうれしいなと感じています。 合宿などで来てもらったら、移住のきっかけになるのではないかと思います。お金が掛かるかもしれませんが、良い提案だと思います。
増田委員長	以上で、委員提案1を終わります。 次に委員提案2の説明をお願いします。
小松主幹	(委員提案2「児童館のような集える施設の整備」について説明)
増田委員長	事務局から説明ありました。 この提案の補足ですが、私は子育て支援活動をしています、そこに来るお母さんたちに希望を聞くと、児童館が御荘地区にはあるが城辺地区にはなく、雨の日に行く場所がないという意見が出ます。 津島の「こもりん」に行かれるなどと聞いて、愛南町にもそ

発言者	発言内容
	<p>ういう場所があればと思います。</p> <p>また、読み聞かせの方たちが中心になったグループがあり、多くの方々が参加されています。児童書も置いてあるような図書館も併設されればと思います。</p> <p>この提案について何か御意見ありましたらお願いします。</p>
内田委員	<p>近くにそういった場所があると良いですね。子供だけでなく高齢者も一緒に料理などの活動ができれば良いと思います。</p>
徳川委員	<p>こういった場所があることは大事なので是非考えていただきたいです。</p> <p>既存の施設も使いやすくなればと思います。</p> <p>城の辺学習館は、敷居が高く入りづらい雰囲気がありますが、中に図書室や子どもセンターもあり、高齢の方などが集まっているように思うのですが、実際どのように使っているのでしょうか。</p> <p>複合施設として、くつろげる場所があったらとは思っています。</p>
高川委員	<p>私もこのような意見をたくさん聞きましたが、実際にどの場所にできるかによって、自宅から遠方にできても送迎がいるとか、連れていってもいろいろと不都合なことがあって、皆に良いものをつくるのは、具体的に考えれば考えるほど難しいと感じました。</p>
狩野委員	<p>建物ではないですが、一本松地域のある公園は、以前は役場職員の方が手入れしていたが退職されてから草刈りの回数も減って、遊具も故障しているので親子連れで遊ぶような雰囲気ではなくなっています。</p> <p>城辺には「こぶたの広場」というのがあって、すごく温かく接してくださると聞いています。</p> <p>その地域の人には行きやすいけど、そこから離れた所の人には行きづらいとの声があります。</p>
増田委員長	<p>「子育て支援グループこぶた」ですが、城辺の旧農協の上でしています。</p> <p>月曜日から金曜日までの午後4時までなので、土日に行く所がないとき、雨が降ったとき、暑いときなどに遊びに来てくれ</p>

発言者	発言内容
	<p>ています。</p>
小松主幹	<p>時間が後 15 分ほどになってしまいましたので、もう 1 件審議していただいて、よろしければ、各課の意見は先に集めさせていただきますが、残った提案は第 2 回の委員会で、皆様の御意見をいただくということでもよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(異議なし)</p>
増田委員長	<p>次に委員提案 3 の事務局説明をお願いします。</p>
小松主幹	<p>(委員提案 3 「きめ細やかな行政サービスの充実」について説明)</p>
増田委員長	<p>事務局から説明ありました。 この提案について、徳川委員から補足はありますか。</p>
徳川委員	<p>常々思っていることは、皆の問題意識として町の制度を知らない、利用しづらい、知ろうとすることもしない方もいるため、人海戦術のように人が周知をしていくことが必要です。 また、幼少から高校生までの子供たちが、より良く生きるために自分から情報を得て、自身が生きやすくなったり、民度を高めたりするための主権者教育の実施が望ましいと考えます。</p>
狩野委員	<p>同感です。子供たちに向き合う施策として読み聞かせや子育てしやすい町づくりをお願いしたいと思います。</p>
増田委員長	<p>その他意見もないようですので、以上で事務局にお返しします。</p>
小松主幹	<p>御協議ありがとうございました。 事務局から連絡します。第 2 回の委員会は、7 月下旬から 8 月上旬で開催を予定しています。 この後、日程調整表をお配りしますので、返信用封筒かファクス、メール等で御回答いただければと思います。 以上で第 1 回行政改革推進委員会を終わります。</p>